

(様式第4号)

川西地域協議会 会議概要

| | |
|-------------|--|
| 1 審議会名 | 第2回川西地域協議会 |
| 2 日時 | 平成30年6月26日 午後1時30分から午後3時20分まで |
| 3 会場 | 川西地域自治センター まちづくり活動拠点会議室 |
| 4 出席者 | 赤羽武幸会長、大澤広樹委員、岡崎舜一委員、小田朋香委員、神田けさ江委員 久保田直子委員、倉林雅子委員、小泉満彦委員、今佐津雄委員、塩本幸子委員 篠原奈緒美委員、田村実英委員、西澤仁史委員、林修一郎委員、林秀子委員、 若林みゑ子委員 |
| 5 市側出席者 | 宮下センター長、上原地域振興政策幹、酒井係長、小山主査 |
| 6 公開・非公開 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 傍聴者 | 1人 記者 0人 |
| 8 会議概要作成年月日 | 平成30年6月28日 |

協議事項等

- 1 開会(塩本副会長)
- 2 あいさつ(赤羽会長)
- 3 事務局からの報告(欠席者4人、会議成立、傍聴者1人)
- 4 会議事項
 - (1)連絡事項等
 - ・前回会議記録 承認
 - (2)協議事項
 - ア 上田市空家等対策計画(素案)について
説明:建築指導課
質疑を経て委員からの意見:
個人所有の家屋に対しては行政が行えることに限界があるとのことだが、倒壊寸前或いは耐震上など危険になった家屋や動物が棲みついた家屋(周りの畑の野菜が被害を受ける)などの状況を早急に改善できるよう、速やかな対応を要望する。
空家バンクの賃貸物件を増やして欲しい。また、購入や賃貸する際に他市のように補助金制度を導入するなど、空家バンクの充実を望む。
今後、計画が正式に公表された後、多くの課が関係していることや補助金制度や耐震診断の実施の要望がある事、物件によっては行政による解体などが必要になると思われるので、専門的部署の創設を要望したい。
 - イ 上田市立地適正化計画(案)について
説明:都市計画課
質疑応答:
(委員)拠点又は誘導地域に施設建設を行うのか、また、外国人の流入は織り込んでいるのか。
(担当課)施設建設は行わない方向である。また、外国人は増えていくと考えている。
(委員)拠点地域等に指定された地域の不動産が高騰するのではないかと。
(担当課)この施策により価格が下げ止まることはあっても地価があがることはないとする。
(委員)市の人口減少に対する対策がこの計画なのか。
(担当課)計画に沿ったコンパクトシティとすることで、便利で住みやすい地域となり移住者を呼び込むことができると考えている。実際に、移住定住者が多く人口減少は当初の予想よりも少なくなっている。
(委員)先祖伝来の土地に住みたいという人もいるが、こういう対象外の地域の人口は減少してしまうのではないかと。もっと時間をかけて慎重に対応してもらいたい。
(担当課)集約することで全てが解決するわけではないが、何もしなければ課題は解決しない。

ただ、地域住民の気持ちは大切にしていきたいと考えている。
(委員)計画が正式に策定された後、地域の実情に合うように継続的な見直しを是非お願いしたい。
(担当課)5年で見直すことになっている。

ウ 平成30年度「地域協議会だより」の発行について

説明：小山主査

協議：年1回の予定だが、住民にこの協議会が審議している内容を知ってもらうのは大事である。発信する内容によっては複数回の発行も視野に入れる。記事の内容としては、地域協議会の委員の紹介を選出団体名も入れ、昨年提出した意見書とこれに対する回答を入れること。次回に紙面の案を用意し検討する。

エ わがまち魅力アップ応援事業について(報告)

説明：酒井係長

協議：今回の応募者はないため審査はなし。

オ 次回の協議会の予定について

9月25日(火)13時30分から

5 閉 会(塩本副会長)